

食育・地産地消会議及び食育県民大会の開催

事業実施主体：山形県

- 山形県は3世代同居率が全国1位であるが、ひとり親世帯、高齢者一人暮らし世帯が増加し、共働き率が高いことから家族での共食時間を確保できない、若い世代の朝食欠食率が高い等の課題を解決するため、第3次山形県食育・地産地消計画を策定している。
- 本計画を基に食育県民運動の一環として、県内の関係団体と連携し、やまがた食育県民大会を実施した。また、本県の豊かな農産物を中心とした食の魅力を発信することで、県民への食育活動に関する理解を深めた。

山形県



(山形県全域)

【取組の内容】

- 食育・地産地消会議の開催
第3次山形県食育・地産地消推進計画に基づき、食育に係る取組みを効果的・効率的に推進するため、実施主体となる市町村、JA等の食育の取組活動について情報共有した。
- 「おいしい山形食育・地産地消フェスタ(やまがた食育県民大会)」の開催
食を支える農業をテーマにゲストを招聘してのトークショーや食育・農業に関する取組事例の紹介、県内の大学生と意見交換を行った。家庭においても地域の農産物を使用した料理を作れるよう、シェフによる地産地消レシピ動画の紹介、県内の伝統野菜の現物や食育に関する資料を展示した。



やまがた食育県民大会

【取組の成果】

- 会議の関係団体からの活動取組や食育に関する課題等が明確になり、次期計画の策定の参考となる情報を共有化できた。
- 郷土料理や地元の食材に関する理解が深まり、食文化の継承を県民に対し発信できた。

【事業の目標】

- ① 食文化の継承度
事業実施前43.9%
→事業実施後87.0%
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前82.1%
→事業実施後94.0%

